

分科会 キャンプ班

報告者 久保貴洋

1 分科会 キャンプ班の報告

項目	報告内容
生徒からの報告内容	<p>「キャンプ場を活用した自然体験による地域活性化について」 アウトライン（・研究背景・リサーチクエスチョン・キャンプ場を宣伝するメリット・仮説・現状分析問題点・解決策（提案・提言）・まとめ）により報告あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究背景 旧佐野（717万人）、旧田沼（159万人）、旧葛生（120万人）の観光客入込数について調査報告があった。（2018年）旧田沼、旧葛生合わせて全体の20%。 ・リサーチクエスチョン 佐野市の北部を、豊富な自然を使い活性化（自然体験観光による継続的に人を呼ぶ事）を出来ないか。 ・キャンプ場を宣伝するメリット キャンプでは、非日常、五感を刺激体験、自然を求める願望。佐野市のイベント開催地の拠点。佐野市の伝統工芸品「天明鋳物」をキャンプ用品として活用。キャンプブームで利用客増 ・仮説 豊富な自然を生かしキャンプ場を効果的にPRする事で多くの人を呼び込める。 ・現状分析問題点 山間部の観光客入込数が少ない。 10代20代の若者少ない。キャンプ場が冬季休業。 ・解決策（提案・提言） イベントの企画（イベントや観光で使える特典等）。SNSを利用したサービス。天明鋳物を活用。リピート客の確保。 ・まとめ 考案したPR案の実行→キャンプ場PR。 山間部へ観光客を呼び込む→佐野市への観光客増→佐野市回遊型で人の呼び込める。

意見交換の内容	<p>・研究テーマである「キャンプ場を活用した自然体験観光による地域活性化」について</p> <p>キャンプの楽しい事を高校生の皆さんぜひ体験をして欲しい。キャンプは夏のイメージがあるが、夏よりも、冬のキャンプでとても綺麗な星空を見て欲しい。</p> <p>夏は川遊び、秋は紅葉狩りそして冬は天体観測。季節に合わせたキャンプ場が拠点となるイベントの実施。</p> <p>豊富な自然を生かすために、キャンプ場を積極的、効果的にPRしたら県内、県外から多くの人たちを呼び込む事が出来る。</p> <p>都会から佐野市に来る、自動車でのアクセスの良さをPRしたら良い。</p> <p>閉校になった小学校についても（新たなキャンプ場）として利活用できる。</p>
感想、所見、課題等	<p>観光立市を掲げている本市として、大変参考になる研究テーマ、内容であった。新たな事業として行政に対して進めたいものであった。</p> <p>しっかりとしたアウトラインをたて、現状の分析、課題、問題点を把握して、それぞれの解消策（提案、提言）をまとめられていた。私達3名の議員から感想・意見等に対してよく理解もしてくれた。また、キャンプ用品として天明鋳物の活用を結びつけた発想力も素晴らしい事でもあった。</p> <p>今後の更なる研究の取り組み、展開を期待致します。</p>

2 参加議員 高橋 功、田所 良夫、久保 貴洋